Kenko

ケンコー ラジオ付ボイスレコーダー

REGXIA ICR-036

取扱説明書

REGXIA
RADIO & VOICE RECORDER
モード
録音/停止
早戻し
再生
早送り

このたびはラジオ付ボイスレコーダー「ICR-036」をお買い上げいただき、ありがとうございます。
ご使用の前には必ず取扱説明書をよくお読みいただき、安全に正しくお使いください。
また、取扱説明書は必ず大切に保管しておいてください。

ケンコー ラジオ付ボイスレコーダー

REGXIA ICR-036

取扱説明書

このたびはラジオ付ボイスレコーダー「ICR-036」をお買い上げいただき、ありがとうございます。
ご使用の前には必ず取扱説明書をよくお読みいただき、安全に正しくお使いください。また、取扱説明書は必ず大切に保管しておいてください。

本書の早見表

◆詳しくは、P.05「目次」をご覧ください。

目次

はじめに

このたびは、ボイスレコーダー「ICR-036」をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
ご使用の前に、この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
また、お読みになったあとは、いつでも見られるところに大切に保管してください。

ご使用前にお読みください。

■結婚式や旅行など大切な録音の前には必ず事前にテスト録音を行ってください。

■著作権などにお気をつけください。録音を制限されている場所もありますのでお気をつけください。また、プライバシーを侵害するような録音は行わないでください。

■本製品の故障およびその他の理由により生じた録音データの破損、消失による利益損失、損害などに関し、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

■本製品の使用および故障により生じた直接、間接の損害に関し、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

■本取扱説明書の誤りなどについての補償はご容赦ください。

■本取扱説明書の図、写真、パソコンディスプレイの画面などは説明のために作成したものです。あらかじめご了承ください。

■本取扱説明書の内容の一部もしくは全部を無断で複写することは、個人で楽しまれる場合を除き禁止されています。

■本取扱説明書は、「ICR-036」のすべての機能を説明したものではありません。

■製品改良のため予告なく外観、仕様などを変更することがあります。

■本取扱説明書に記載のシステム名、商品名および会社名は各社の商標または登録商標です。

■「ICR-036」を長時間使用すると本体が熱くなりますが、これは異常ではありません。

安全上のご注意　必ずお読みください

本製品を安全にご使用いただくために、下記の項目をご使用前に必ずお読みになり、正しくお使いください。

本製品を正しくご使用いただき、お使いになる人や他の人々への危害と財産への損害を未然に防止するために、次の絵表示で説明しています。

⚠ 危 険	この指示に従わないで誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う切迫した危険の発生が想定される内容です。
⚠ 警 告	この指示に従わないで誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
⚠ 注 意	この指示に従わないで誤った取扱いをすると、人が障害を負う可能性または、物的損害が生じる可能性が想定される内容です。

⚠ 危 険

■可燃ガス、爆発性ガスなどが、大気中に存在する恐れのある場所での本製品の使用はおやめください。引火･爆発の原因となります。

■本製品を分解したり、直接ハンダ付けするなどの 加工および、火中投入などは行わないでください。発熱、発火、破裂の危険があります。

■本製品を高温の場所（真夏の車内、窓辺、暖房器具のそばなど）で使用、保管しないでください。

安全上のご注意　必ずお読みください

⚠ 警 告

■イヤホン使用時、大音量で再生しないでください。永久聴覚障害の原因となります。

■本製品を歩行中、または運転中に絶対使用しないでください。交通事故の原因となります。

■本製品を足場の悪い環境や、不安定な場所で使用しないでください。事故の原因となります。

■本製品は防水構造ではありません。水をかけたり、濡らしたりしないでください。
製品内部に水が入ると火災や感電、故障の原因となります。

■「ICR-036」に何らかの液体が入った場合、使用を中止してください。
電源を切り、お近くの販売店にお問い合わせください。

■感電の恐れがありますので、濡れた手で「ICR-036」を触らないでください。

■「ICR-036」の分解や改造は行わないでください。火災や感電、故障の原因となります。
内部の点検や修理は販売店もしくは当社までご依頼ください。

■本製品を室外で使用中に落雷の恐れがある場合、すみやかに使用をやめてください。
事故の原因になります。

■ポリ袋（包装用）などを小さなお子様の手の届くところに置かないでください。
口にあてて窒息の原因になることがあります。

安全上のご注意　必ずお読みください

⚠ 注 意

■本製品は精密な電子機器です。以下のような場所で使用したり放置すると火災や感電、故障の原因となることがありますので避けてください。

●砂、ほこり、ちりの多い場所　●火の近く　●湿ったところ　●振動の激しい場所
●温度･湿度の変化が激しい場所

■車内は、温度変化が激しく高温あるいは低温になり振動もありますので使用および保管は避けてください。

■「ICR-036」を落としたりぶつけたりして強い振動や衝撃を与えないでください。

■電極部分などには一切触れないでください。感電や故障の原因になります。

■本製品を保管するとき、上に重い物を載せないでください。故障の原因になります。

■本製品に付属のケーブルを接続するとき、無理矢理入れたり外したりしないでください。
故障の原因になります。

■ストラップを持って振り回さないでください。他人に当たり、けがや事故の原因となることがあります。

その他のご注意

■電池は、一般に低温になるにしたがって一時的に性能が低下します。寒冷地で使用するときは、本製品を防寒具や衣服の内側に入れるなどして保温しながら使用してください。低温により性能が低下した電池は、常温に戻ると性能は回復します。

■録音内容、使用環境および電池により記録可能時間が減少する場合があります。

■本体が汚れたとき、市販のクリーニング布で拭き取ってください。
汚れたままですと、クリアな録音ができない場合があります。

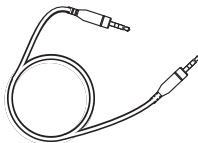
ボイスレコーダーの紹介

セット内容

以下のセット内容が揃っているかどうか、ご確認ください。

本体

単4形乾電池(2本)
(サンプル)

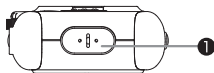
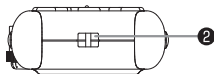
※ステレオイヤホン
(試供品)

取扱説明書(本書)

取扱説明書

USB-PC接続ケーブル

※ステレオイヤホンは
試供品ですので保証
対象外となります。

ボイスレコーダーの紹介

各部の名称

❶内蔵マイク
❷ストラップ穴
❸イヤホンジャック
❹外部マイクジャック
❺USB端子
❻電源スイッチ
❼予約ボタン
❽録音ランプ
❾液晶画面
❿モードボタン
⓫録音ボタン
⓬早戻しボタン
⓭再生ボタン
⓮早送りボタン
⓯スピーカ
⓰フォルダボタン
⓱消去ボタン
⓲音量調節ダイヤル
⓳ホールドスイッチ
⓴電池カバー

左側面

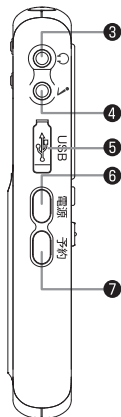
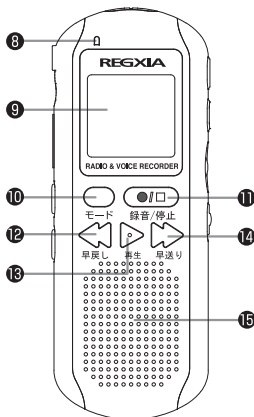
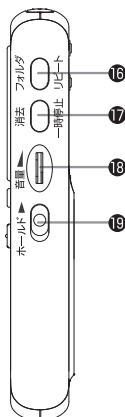
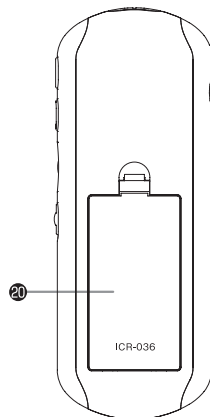
USB
電源
予約

前面

REGXIA
RADIO & VOICE RECORDER
モード
録音/停止
早戻し
再生
早送り

右側面

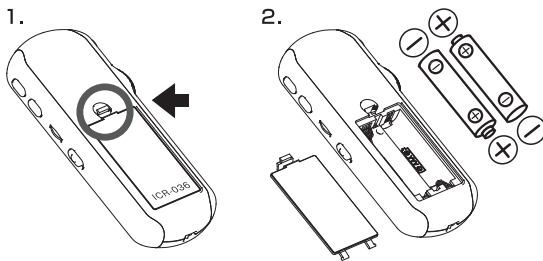
フォルダ
リピート
消去
一時停止
音量
ホールド

裏面

ICR-036

ご使用の前に

電池の取り付け

1.電池カバーのクリップをICR-036と記載された方向に押しながら、上方に持ち上げて外します。

2.右図を参照に⊕⊖方向に注意して単4形乾電池をセットします。

●電池を本体から着脱する場合は、必ず電源をオフにした状態で行ってください。
●電池は+ー方向に注意し、正しくセットしてください。
●「ICR-036」を正しく作動させるために、お使いの電池を正しく選択してください。

◆電池残量については、液晶画面上のバッテリーアイコンに表示されます。

電池の残量は充分です。

電池の残量は半分程度です。

電池の残量がありません。電池を交換してください。

◆単4形アルカリ乾電池をご使用ください。

◆電池を「ICR-036」の中に入れたまま長期間保管すると、電池が消耗します。
「ICR-036」を長期間使用しないときは電池を取り出してください。

◆「ICR-036」の操作に必要な電源を得ることができないマンガン電池は、使用できません。

◆電池は、気温0℃以下または40℃以上では正常に動作しない場合があります。
「ICR-036」を長時間使用すると電池および本体が熱くなりますが、これは異常ではありません。

ご使用の前に

アルカリ乾電池に関する安全上のご注意

警告 付属のアルカリ乾電池をご使用の前に必ず、下記の安全上の注意をお読みください。

①ショート、分解、加熱、充電、(+)(−)の逆方向にセットしないでください。使用済みの電池を火に入れるなどしないでください。
また、新しい乾電池と使用した乾電池を混用で使用しないでください。使い切った乾電池はすぐに「ICR-036」から取り出してください。

②「ICR-036」は電源が切れていても微弱電流が流れています。
長期間(およそ1ヶ月以上)「ICR-036」を使用しない場合は、乾電池を取り外して保管してください。

③乾電池は乳幼児の手の届かない所に置き、乾電池を飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。
乾電池のアルカリ液がもれて、皮膚や衣服に付着した場合は、失明やケガなどの恐れがありますので、きれいな水で洗い流し、すぐに医師の診断・治療を受けてください。

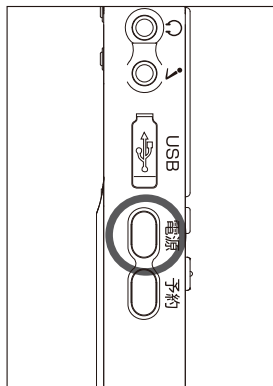
④同梱品の乾電池はサンプルです。使用可能時間が一般的な乾電池に比べて短い場合があります。

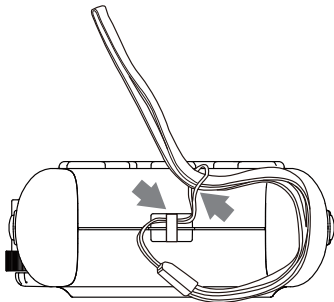
⑤使用済みの乾電池は、お住まいの自治体が定めた方法で処分してください。

ご使用の前に

電源のオン・オフ

1. 電源ボタンを約1秒間長押しします。
   電源が入り、液晶画面が表示されます。
2. 電源ボタンを約1秒間長押しすると電源がオフになります。

◆長押しとは、そのボタンを押し続けることです。
◆タイマ録音がオンに設定されている場合は、長押しの必要はありません。
◆電源オフは、一度電源ボタンを押して待機モードにしてから電源ボタンを長押しします。
◆約5分間何も操作しないと、自動で液晶画面の表示が消えます。
◆待機モードにするには、電源ボタンを約1秒長押ししてください。

ストラップの取り付け

右図を参考にして、ストラップを取り付けてください。

日付／時刻の設定

ICR-036をご使用の前に、日付と時刻の設定を行います。

1. 電源をオンします。
   日付／時刻が表示されます。
2. モードボタンを長押しします。
   設定画面が表示されます。
3. 再生ボタンを4回押します。
   年の数値が点滅表示されます。
   点滅表示されている数値を変更できます。
4. ◁◁ 早戻しボタンまたは ▷▷早送りボタンを押して数値を調整し、▷再生ボタンを押して月へ移動します。
5. 年と同様に ◁◁早戻しボタンまたは▷▷ 早送りボタンを押して月を設定して▷再生ボタンを押して日に移動します。
   同様の操作で時間、分を設定します。
6. モードボタンを押して決定します。

◆設定を間違えた場合は、いったん設定を終了してからはじめからやり直してください。年は西暦の下二桁、例えば2012年は「12」と入力します。

◆日付／時刻は、ファイルデータに記録されますので、できるだけ正確に設定してください。

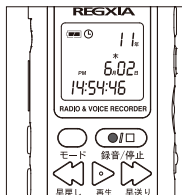
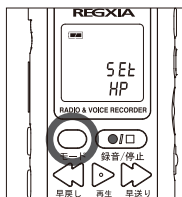
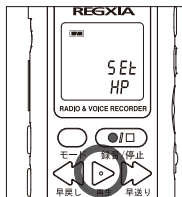
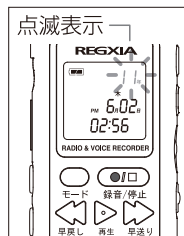
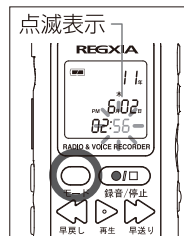
◆待機モード時、フォルダボタンを押すごとに12時間表示／24時間表示を切り替えます。

1.

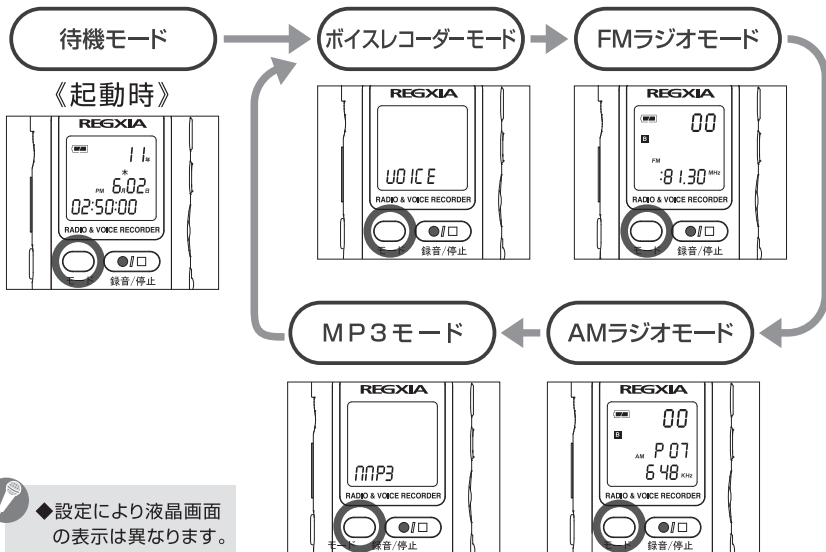
2.

3.

4.

6.

モード変更

ICR-036のモードを変更します。

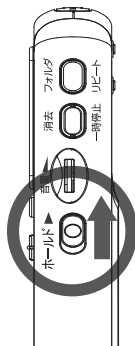
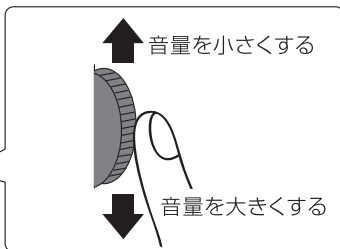
1. ICR-036の電源をオンします。待機モードで立上がります。
2. モードボタンを押すごとにモードが変更されます。

◆設定により液晶画面の表示は異なります。

ホールドスイッチの使い方

ホールドスイッチを▶側にスライドさせるとキー操作ができなくなります。

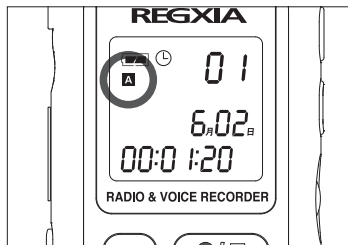
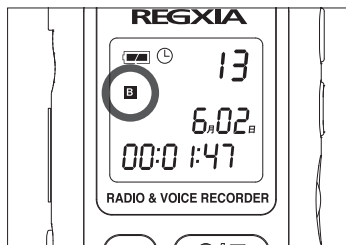
◆誤操作を防止します。
◆ホールドスイッチを▶側にすると以下の操作ができません。
- ●音声録音
- ●電源オフ

!

●電源オンはできますので電池の消耗にご注意ください。

音量を調節する

フォルダボタンの使い方

ボイスレコーダモードでは、ファイル（データを保存するフォルダ場所）を4ヶ所（A·B·C·D）から選択できます。
例えばA:音楽、B:音声、C:FMラジオ、D:AMラジオのように分けて保存すると再生を容易にします。

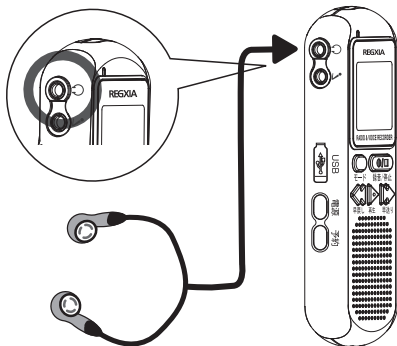
1. モードボタン（P.16「モード変更」をご覧ください）を押して、「ボイスレコーダーモード」にします。
2. フォルダボタンを押すごとに、A→B→C→D→Aと変更されます。

1.

2.

ご使用の前に

ステレオイヤホンの使い方

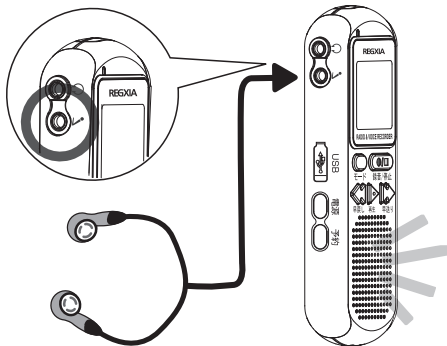
イヤホンジャックに差します。

◆イヤホン使用時には、スピーカからは音が出ません。

◆イヤホン型マイクには、イヤホン機能がありませんのでご注意ください。

FMラジオのアンテナについて

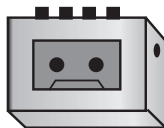
イヤホンがアンテナの替わりになります。

FMラジオをスピーカーで聞く場合は、イヤホンを外部マイクジャックに差してください。アンテナの替わりになります。

◆AMラジオの場合、内蔵アンテナが小型ですので受信感度の良い窓際等で、本体の向きを調整して使用してください。

AV接続ケーブルの使い方

イヤホンジャックに差してください。

録音した内容をテープレコーダに保存して残しておく。

カセットレコーダ、REC
端子、ラインIN端子な
どに接続します。

LINE端子へ
接続

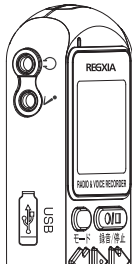
付属
AV接続ケーブル

イヤホンジャック
へ接続

REGXIA

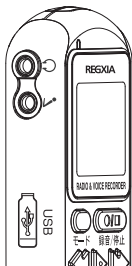
RADIO & VOICE RECORDER

USB

モード　録音/停止

◆ボイスレコーダに録音した音声を
カセットなどに保存する時に使います。

外部マイク（別売品）の使い方

外部マイク（別売・市販品）を使用して録音する。

外部マイク（別売品）を使う場合は、外部
マイクジャックへ差してください。

◆外部マイクを使用の場合は、φ3.5mm
プラグ、プラグインパワー方式、イン
ピーダンス 2.2kΩをお選びください。

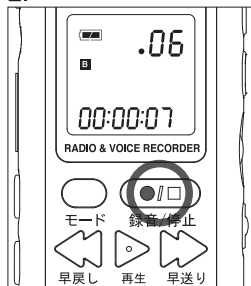
ボイスレコーダー機能

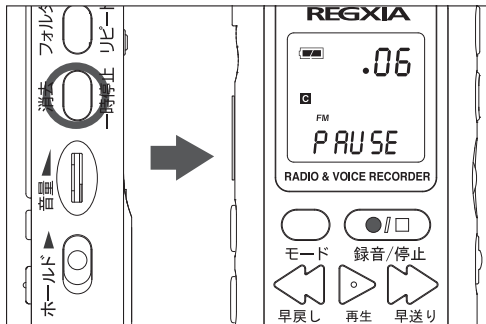
録音する

テープレコーダのように音声を録音します。

1. モードボタン(P.16 「モード変更」をご覧ください)を押して「ボイスレコーダーモード」にします。
2. (●/□) 録音ボタンを押します。
   録音ランプが点灯して録音が開始します。録音時間が液晶画面に表示されます。

1.

2.

3. 録音中に消去ボタンを押すと録音を一時停止します。
   再度、消去ボタンを押すと録音を再開します。
4. 再度、(●/□) 録音ボタンを押すと録音を終了します。

3.

◆風の音や本体と衣服のすれる音等に注意してください。
◆ボイスレコーダの音声ファイルは、個別のファイル名が付いて内蔵メモリに保存されます。
◆誤操作した場合、電源ボタンを長押しすると待機モードに戻ります。
◆液晶画面の表示は、設定等により異なります。

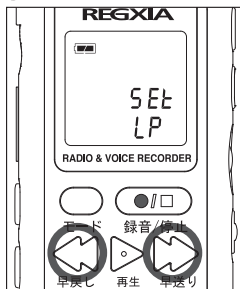
録音する

録音モード

録音モードにより、記録可能時間および音質が異なります。

1. モードボタン(P.16「モード変更」をご覧ください)を押して、「ボイスレコーダーモード」にします。
2. モードボタンを長押します。「セットモード」が表示されます。
3. ◁◁早戻しボタンまたは▷▷早送りボタンを押すたびに録音モードが変更されます。
   下記のいずれかのモードを選択し、モードボタンを押して決定します。
   HP：音質優先(録音可能時間が短くなります。)〈初期設定〉
   SP：標準
   LP：長時間録音(音質がやや低下します。PC 再生時はファイル変換が必要です。)
   「ボイスモード」に戻ります。

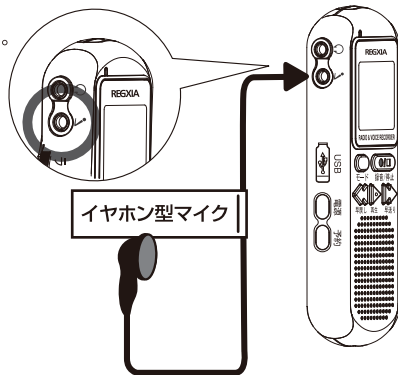
2.

3.

◆FMラジオ・AMラジオ録音でも同様の設定になります。

録音する

電話を録音する

付属のイヤホン型マイクを使用して電話(通話)を録音します。

1. 付属のイヤホン型マイクをマイクジャックに差します。
2. イヤホン部分を耳に当てます。
3. ICR-036を「ボイスレコーダーモード」にします。
   (P.21をご覧ください)
4. (●/□) 録音ボタンを押します。
5. 固定電話・携帯電話で通話してください。

◆イヤホン部分が固定電話の受話器や携帯電話に当たりますと、
その音が録音される場合がありますのでご注意ください。

◆イヤホン型マイクには、イヤホンの機能はありません。

◆大切な電話録音の前には必ず事前にテスト録音を行ってください。

マイク感度

マイク感度をHI／LOに切り替えます。周囲の環境等に合わせて設定します。

1. モードボタンを長押しします。
   設定画面が表示されます。
2. ▷再生ボタンを1回押してマイク感度を設定します。
3. ◁◁ 早戻しボタンまたは ▷▷早送りボタンを押してHI（高感度）／LO（低感度）を選択して再生ボタンを押して決定します。
4. モード ボタンを長押ししてボイスレコーダーモードに戻ります。

1.

2.

3.

◆初期設定（工場出荷時）はHIです。

録音中に録音可能時間を表示する

録音中にあと何時間録音可能か表示します。

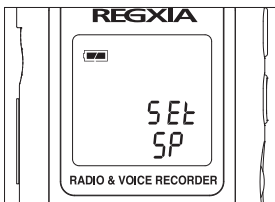
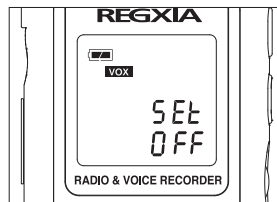
1. 録音中に ▷ 再生ボタンを押します。
2. 録音可能時間が約5秒間表示されます。
   表示後は自動的に元の録音画面に戻ります。

1.

音声感知録音(VOX)機能

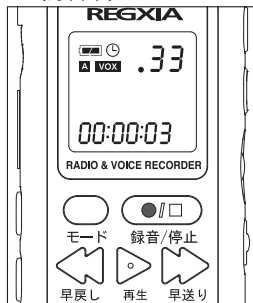
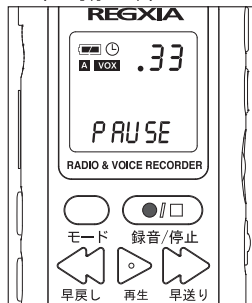
音を感知して録音を自動的に開始･停止する機能です。

1. 電源をオンします。モードボタンを長押しします。
   設定画面が表示されます。
2. 再生ボタンを2回押します。VOX設定画面が表示されます。

1.

2.

録音する

3. ◁◁ 早戻しボタンまたは ▷▷ 早送りボタンを押してVOXをON（オン）にします。
4. モードボタンを押して音声感知(VOX)モードにします。
5. ●/□ 録音ボタンを押すと音声感知録音を開始します。
   無音（約55db以下）が約2秒続くと一時停止し、音声を感知して約0.5秒後に録音を再開します。
6. 録音ボタンを押して音声感知録音を終了します。

3.

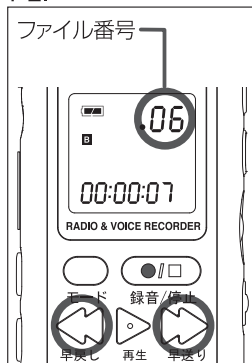
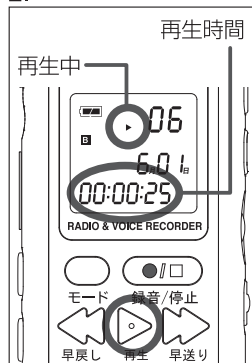
5.（録音中）

5.（一時停止中）

◆すべての環境で動作を保証するものではありません。あらかじめご了承ください。
◆電池・メモリーの消耗にご注意ください。

再生／一時停止

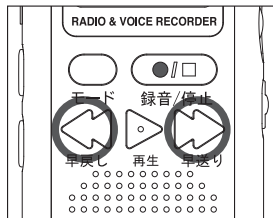
再生する

1. モードボタンを押して「ボイスレコーダーモード」にします。
   ⊲⊲早戻しボタンまたは⊳⊳早送りボタンを押して再生するファイルを選択します。
2. ⊳再生ボタンを押します。再生が開始されます。
3. 再生中に●/□録音ボタンを押すと再生を一時停止します。
   再度⊳再生ボタンを押すと再生を再開します。
   あるいは再生中に消去(/一時停止)ボタンを押しても一時停止します。
   再度消去ボタンを押すと再生を再開します。

1-1.

1-2.

2.

再生／一時停止

4. 再生中に▷▷早送りボタンを長押しすると押している間、早送りします。
▷▷ 早送りボタンから指を離すと通常再生します。◁◁早戻しボタンを長押しすると、押している間、早戻しします。◁◁早戻しボタンから指を離すと通常再生します。

4.

▶ リピート（繰り返し）再生

部分リピート（P.54 をご覧ください）
ファイルのリピート（P.55 をご覧ください）

◆音量調整ダイヤルで再生音量を調整します。
再生中および再生待機中に◁◁ 早戻しボタンおよび ▷▷早送りボタンを押すと前後ファイルに移動します。

◆再生の途中で電源をオフした時、再度電源をオンにすると、ふたたびその部分から再生する機能があります。

録音した音声を削除する

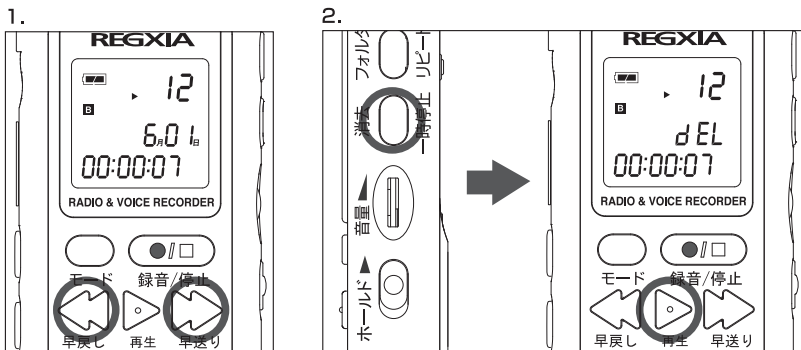
削除

選択削除

不要な音声（ボイスレコーダー）ファイルを選択削除します。

1. 削除するファイルを◁◁早戻しボタンまたは▷▷早送りボタンを押して選択します。
2. 消去ボタンを押します。
   再生されますので消去するファイルであるか再度確認して▷再生ボタンを押します。
   ファイルが削除されます。

1.

2.

◆削除すると元には戻りませんのでご注意ください。

録音した音声を削除する

すべて削除

ファイルをすべて削除します。

1. 消去ボタンを長押しします。
   全削除画面が表示されます。
2. ◁ 早戻しボタンまたは▷早送りボタンを押して「yES」を選択します。
3. ▷再生ボタンを押します。
   すべてのファイルが削除されます。

1.

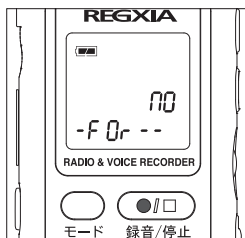
2.

◆削除すると元には戻りませんのでご注意ください。
◆パソコンから取り込んだMP3データは削除されません。

録音した音声を削除する

フォーマット

各設定を初期設定（工場出荷時）に戻し、音声データ·MP3データすべて削除されます。

1. モードボタンを長押しします。設定画面が表示されます。
2. ▷再生ボタンを3回押します。フォーマットが表示されます。
3. ◁◁ 早戻しボタンまたは▷▷早送りボタンを押して「yES」を選択します。
4. ▷再生ボタンを押します。
5. モードボタンを押して「ボイスレコーダーモード」に戻ります。

◆削除すると元には戻りませんのでご注意ください。

ラジオ機能(FMラジオ)

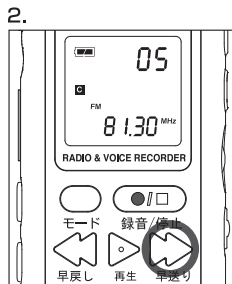
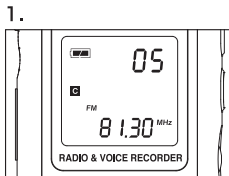
FMラジオを受信します。
受信帯はFM(76.0MHz〜90.0MHz)になります。
P.19の「ステレオイヤホンの使い方」および「FMラジオのアンテナについて」をご覧ください。

FMラジオを聞く

FMラジオとして機能します。

1. モードボタン(P.16「モード変更」をご覧ください)を押してFMラジオモードにします。
2. ◁◁ 早戻しボタンまたは ▷▷ 早送りボタンを押して選局します。1回押すごとに0.1MHz増減します。
3. ◁◁ 早戻しボタンまたは ▷▷ 早送りボタンを長押しすると、スキャンを開始して受信状態の良い局で停止します。遠出の外出先での選局に便利です。

1.

2.

FMラジオを録音する

聴収しているFMラジオを録音します。

1. 選局されている番組を録音します。録音ボタンを押します。
2. 再度録音ボタンを押すと録音を終了します。

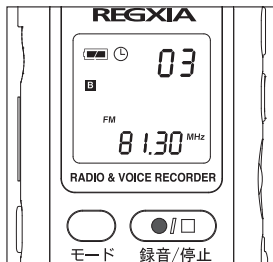
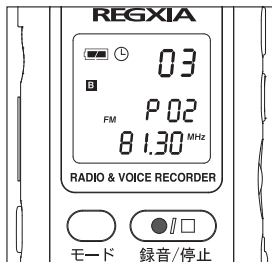
1.

◆ファイル番号を確認してください。再生するときにファイル番号で選択します。

プリセット

お好みの局をプリセットすると選局が簡単になります。

1. お好みの局を選択します。
2. ▷再生ボタンを押します。
   プリセットが完了すると「P.00」と表示。
3. プリセットした局を呼び出す時は、フォルダボタンを押します。
   フォルダボタンを押すたびにプリセットした局を選局します。
4. プリセットした局を削除する場合は、消去ボタンを押してください。
   すべてのプリセットを削除する場合は、消去ボタンを長押しします。

1.

2.

◆プリセットは20局までです。

◆AMラジオも同様な操作でプリセットしてください。

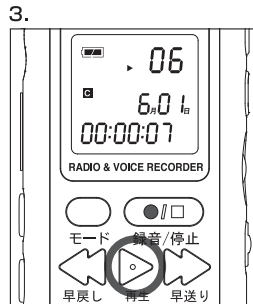
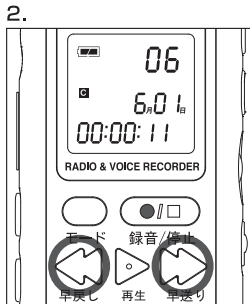
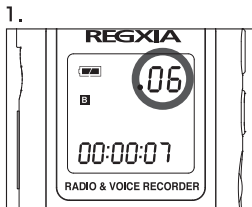
録音したFMラジオを聞く

あらかじめFMラジオを録音しておきます。

1. ボイスレコーダーモードにします。
   (P.16「モードの変更」をご覧ください。)
2. ◁◁早戻しボタンまたは▷▷早送りボタンを押して録音したファイルを選択します。
3. ▷再生ボタンを押して再生を開始します。

1.

2.

3.

◆操作方法はボイスレコーダー機能と同様です。

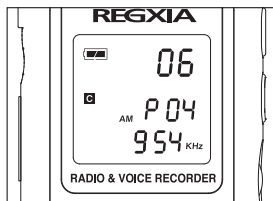
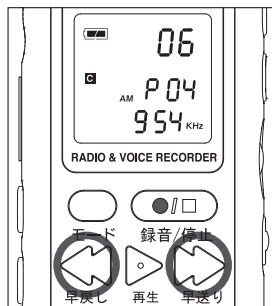
ラジオ機能(AMラジオ)

AMラジオを受信します。
受信帯はAM(522KHz～1629KHz)になります。

AMラジオを聞く

AMラジオとして機能します。

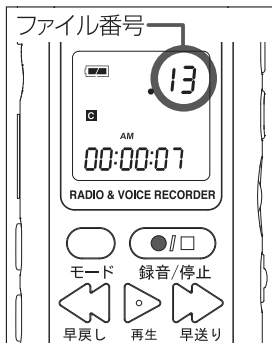
1. モードボタン(P.16「モード変更」をご覧ください)を押してAMラジオモードにします。
2. ⊲⊲早戻しボタンまたは⊳⊳早送りボタンを押して選局します。
   1回押すごとに出荷時に設定された周波数へ増減(9KHzステップ)します。
3. ⊲⊲早戻しボタンまたは⊳⊳早送りボタンを長押しすると、スキャンを開始して受信状態の良い局で停止します。遠出の外出先での選局に便利です。

1.

2.

ラジオ機能(AMラジオ)

AMラジオを録音する

聴収しているAMラジオを録音します。

1. 選局されている番組を録音します。
   録音ボタンを押します。
2. 再度録音ボタンを押すと録音を終了します。

1.

◆ファイル番号を確認してください。再生するときにファイル番号で選択します。

ラジオ機能(AMラジオ)

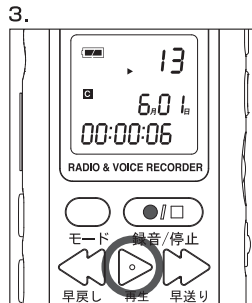
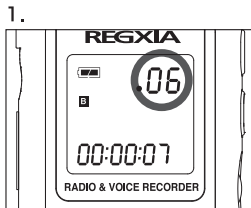
録音したAMラジオを聞く

あらかじめAMラジオを録音しておきます。

1. ボイスレコーダーモードにします。
   （P.16「モードの変更」をご覧ください。）
2. ◁早戻しボタンまたは▷早送りボタンを押して録音したファイルを選択します。
3. ▷再生ボタンを押して再生を開始します。

1.

2.

3.

予約(タイマ)録音

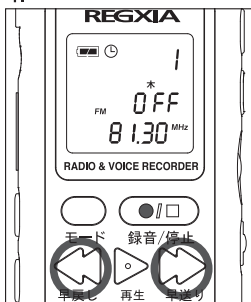
予約録音

音声･FMラジオ･AMラジオを予約(タイマ)録音します。
音声･FMラジオ／AMラジオ共に設定方法は同じです。
ここでは例としてFMラジオの予約録音方法を説明します。

1. 電源をオンします。
   日付／時刻が表示されます。
   現在の時刻と相違がないことを確認してください。
2. モードボタン(P.16モード変更をご覧ください)を押してボイスレコーダー モードにします。
3. 予約ボタンを押します。

予約(タイマ)録音

4. ◁◁早戻しボタンまたは▷▷早送りボタンを押して点滅している予約番号を設定します。
   1～20番まで選択できます。
   ▷再生ボタンを押して設定します。
5. ◁◁早戻しボタンまたは▷▷早送りボタンを押して点滅しているOFF(オフ)からON(オン)に変更してから▷再生ボタンを押して設定します。
6. タイママークが点滅します。
   早戻しボタンまたは早送りボタンを押すとリピートが点灯（リピート機能 ON）します。
   もう一度早戻しボタンまたは早送りボタンを押すと消灯（リピート機能 OFF）します。
   どちらか選択し、▷再生ボタンを押します。

4.

5.

6.

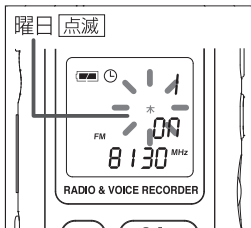
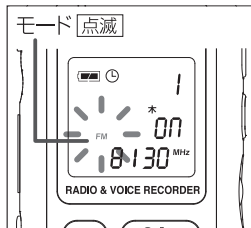
予約(タイマ)録音

7. 曜日が点滅します。
   ◁◁ 早戻しボタンまたは ▷▷早送りボタンを押して月～日までの曜日を選択してから▷再生ボタンを押して設定します。
8. モードが点滅します。
   ◁◁ 早戻しボタンまたは ▷▷ 早送りボタンを押して(VOICE:音声·FM:FMラジオ·AM:AMラジオ)FMを選択してから▷再生ボタンを押します。

   MHz(周波数)が点滅します。
9. ◁◁ 早戻しボタンまたは ▷▷早送りボタンを押して周波数を指定して選局してから▷再生ボタンを押して設定します。

7.

8.

9.

10. 録音開始時間が点滅します。(24時間表示になります)
    ⊲⊲早戻しボタンまたは⊳⊳早送りボタンを押して時間を指定してから⊳再生ボタンを押して設定します。
    同様に分を設定します。
11. 録音終了時間が点滅します。
    録音開始時間と同様に時間･分を設定します。
12. 予約ボタンを押して設定完了です。
    3.の予約画面に戻ります。モードボタンを押すとボイスレコーダーモードに戻ります。

10.

11.

12.

◆予約(タイマ)録音の設定が完了後に電源をオフにしても予約録音は実行されます。
この場合、録音が終了すると電源は自動的にオフになります。

◆日付をまたいだ予約はできません。
例)録音開始 23:00　録音終了　0:30

◆予約は20件までになります。

◆「リピート予約」にすると毎週、おなじ曜日･時間に予約録音されます。

AV機器との接続

ICR-036とAV機器(CDプレーヤ等)を付属のAV接続ケーブルで接続して音楽(アナログ)データを取り込みます。

1. 本機(ICR-036)とCDプレーヤ等の電源をオンします。
2. 付属のAV接続ケーブルをICR-036の外部マイクジャックに、もう一方をCDプレーヤのイヤホン端子に接続します。
3. モードボタン(P.16「モード変更」をご覧ください)を押して、「ボイスレコーダーモード」にします。
4. (●/□)録音ボタンを押します。録音が開始されます。
   この時ファイル番号を確認してください。音楽を再生するときに選曲を容易にします。
5. (●/□)録音ボタンを再度押して録音を終了します。

3.

4.

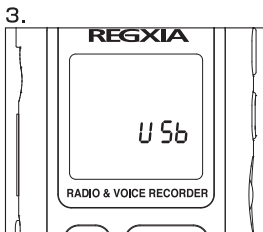
◆録音(アナログ)データはボイスレコーダー(音声録音)モードに保存されます。

◆音楽以外にもテレビの音声を同様に録音できます。

パソコンとの接続

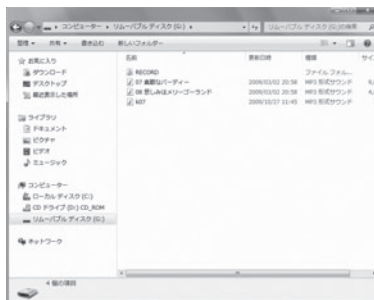
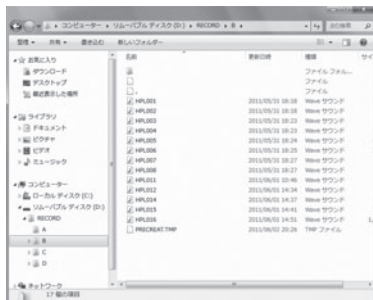
ICR-036とパソコンを付属のUSB-PC接続ケーブルで接続してデジタル音楽データをパソコンから取り込みます。

1. 本機(ICR-036)とパソコンの電源をオンします。
2. 付属のUSB-PC接続ケーブルの小さいUSB端子(ミニB)をICR-036のUSB端子に接続し、大きいUSB端子をパソコンのUSB端子に接続します。
3. 液晶画面に「USb」と表示されます。
   表示されない場合は、モードボタンを押してください。
   初めて接続するとパソコンのモニタに小さく「新しいハードウェアが見つかりました」と表示され、しばらくすると小さく「デバイスを使用する準備が出来ました。」と表示されます。

3.

パソコンとの接続

4. ICR-036は「リムーバブルディスク」と表示されます。
   MP3データは、「RECOAD」フォルダの外へ保存してください。
5. 録音された音声ファイルは「RECORD」→「A」、「B」、「C」、「D」フォルダの中にあります。
   音声ファイルをパソコンに取り込み保存します。
   P.18「フォルダボタンの使い方」をご覧ください。

4.

5.

◆お使いのパソコンのOS、構成等によりモニタの表示は異なります。

◆パソコンのUSB端子の場所は、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。

◆MP3データの削除は、パソコンと接続して、他のファイルを削除しないように十分注意の上実行してください。

◆MP3データの作成及びパソコンへの取り込みはサポート外となります。あらかじめご了承ください。

◆終了する時は、各OSに適した方法で安全に付属のUSB-PC接続ケーブルを外してください。

音声ファイルの形式変換

録音モードで「HP」および「SP」では、パソコンでそのまま再生できますが、「LP」をパソコンで再生するには、ファイル形式の変換が必要になります。P.23「録音モード」をご覧ください。

ソフトウェア（Sound Convert Tool 2.0）をインストールする

1. 付属のUSB-PC接続ケーブルでパソコンと本機（ ICR-036 ）を接続します。
   P.44「パソコンとの接続」をご覧ください。
2. ファイル変換するソフトウェアは、本機の内蔵メモリに保存されています。
   本機にはCD-ROM等は同梱されておりませんのでご注意ください。
   「スタート」→「マイコンピュータ」（コンピュータ）の順にクリックして開きます。
   ソフトウェアは仮想のCD-ROMドライブ内にあります。
3. 「CDドライブ」→「TOOL」の順にクリックして開きます。
   「ICR_CONVERT」と「RDISK UPDATE」が表示されます。

3.

パソコンとの接続

4. 「ICR_CONVERT」をダブルクリックします。
「ICR_CONVERT_SETUP」が表示されます。
5. 「ICR_CONVERT_SETUP」をダブルクリックします。
「Select Setup Language（言語の選択）」が表示されます。
日本語がありませんので「English（英語）」を選び「OK」をクリックします。

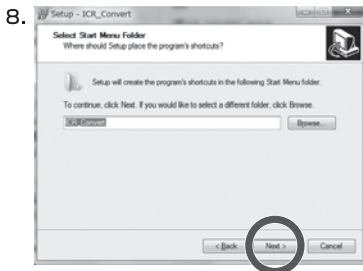
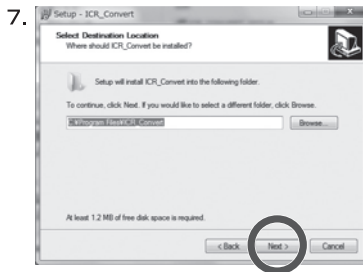
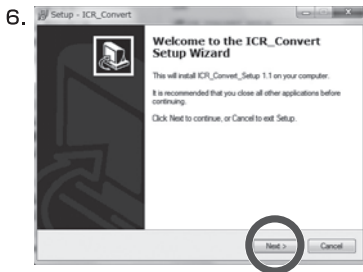
4.
5.
◆お使いのパソコンのOS、構成等によりモニターの表示は異なります。

パソコンとの接続

6. 「Welcome to the ICR_Convet Setup Wizard(ようこそ ICR Convetへ)」が表示されます。「Next(次へ)」をクリックします。
7. 「Select Destination Location(インストール先の選択)」が表示されます。確認して「Next(次へ)」をクリックします。
8. 「Select Start Menu Folder(スタート·メニュー·フォルダ)」の選択が表示されます。確認して「Next(次へ)」をクリックします。

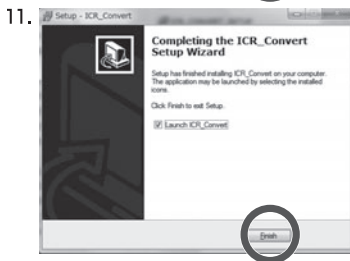
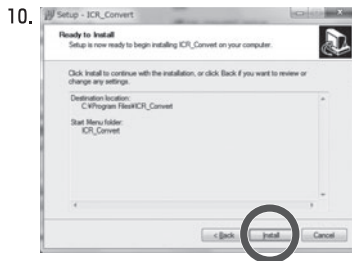
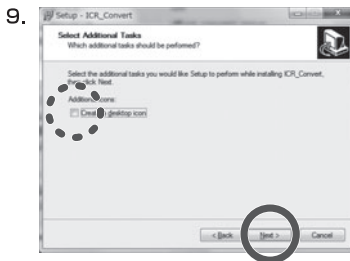
6.

7.

8.

9. 「Select Additional Tasks(アイコンの作成)」が表示されます。
デスクトップにアイコンを作成する場合は「Create a desktop icon(デスクトップにアイコンを作成)にチェックしてから「Next(次へ)」をクリックします。
10. 「Ready to Install(インストールの準備完了)」が表示されます。
「Install(インストール)」をクリックします。インストールが開始します。
11. 「Completing the ICR_Convert Setup Wizard(インストールが完了)」が表示されます。
「Finish(終了)」をクリックします。「Sound Convert Tool 2.0(サウンドコンバート2.0)」が起動します。「Exit(終了)」をクリックして、サウンドコンバート2.0およびインストールを終了します。

9.

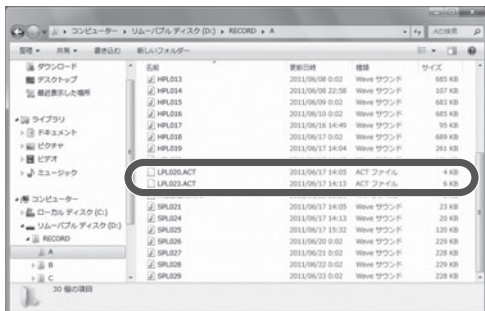
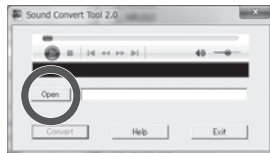
10.

11.

◆録音モード「LP」を本体で再生する場合には、変換は必要ありません。

パソコンとの接続

ソフトウェア(Sound Convert Tool 2.0)を使用する

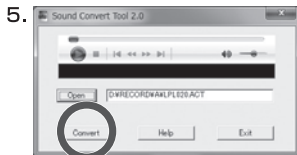
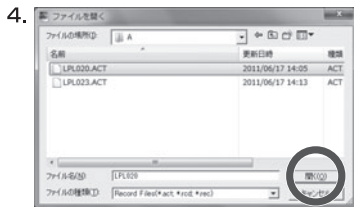
ファイル名の後に「ACT」の拡張子が付いたファイルは、そのままではパソコンで開け(再生でき)ません。

1. 付属のUSB-PC接続ケーブルでパソコンと本機(ICR-036)を接続します。
   P.44「パソコンとの接続」をご覧ください。
2. 「スタート」→「ICR_Convert」の順にクリックするか、デスクトップに「ICR_Convert」のアイコンがある場合は、ダブルクリックしてソフトウェアを起動します。
   「Sound Convert Tool 2.0」が表示されます。
   「Open(開く)」をクリックします。

2.

パソコンとの接続

3. 「リムーバブルディスク」→「RECORD」の順に開き、「A」、「B」、「C」、「D」のいずれかを選択します。
4. 例えば「A」を選択します。
   ACTの拡張子が付いた音声ファイルが表示されます。
   ファイルを選択し、「開く」をクリックします。
5. 「Sound Convert Tool 2.0」に戻ります。
   選択したファイルが表示されている事を確認して、「Convert(変換)」をクリックします。
   ファイル変換を開始します。
   ファイル変換された音声ファイルは別ファイルとして保存されます。

3.

4.

5.

6. ▷ をクリックすると再生します。
🔈 ―●― スライドバーで音量を調整します。

6.
◆変換されたファイルの容量は大きくなります。
パソコンで録音モード ： LPを再生する場合は、音声ファイルをパソコンに保存してから変換するとICR-036のメモリ残容量に負担をかけません。

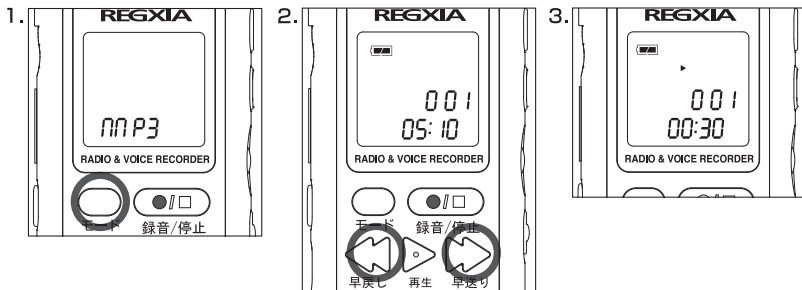
ファームウェア・アップグレード機能について

ICR-036を制御しているファームウェア（F/W）を新しくする機能です。
この機能を使用してアップデートするには、新しいF/Wとパソコンの知識が必要になります。

アップデートに関しましては、弊社のホームページでお知らせする予定です。
http://www.kenko-tokina.co.jp/

音楽を再生する

ICR-036を音楽(ミュージック)プレーヤにします。
あらかじめMP3データをパソコンから転送しておいてください。

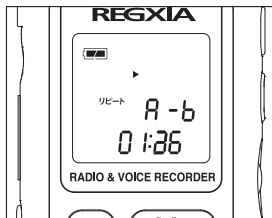
1. モードボタン(P.16「モード変更」をご覧ください)を押してMP3モードにします。
2. ◁◁早戻しボタンまたは▷▷早送りボタンを押して選曲します。
3. ▷再生ボタンを押すと再生を開始します。
   再生中に●/□録音ボタンを押すと一時停止します。
   再度、▷再生ボタンを押すと再開します。
4. 再生中に◁◁ 早戻しボタンまたは ▷▷ 早送りボタンを長押しすると押している間、早戻しまたは早送りします。
   停止中に◁◁早戻しボタンまたは ▷▷早送りボタンを押すと前後のファイル(曲)へ移動します。

1.
2.
3.
◆ MP3データの作成及パソコンへの取り込みはサポート外となります。あらかじめご了承ください。

リピート(繰り返し)再生

部分リピート

部分的に繰り返し聞く時に設定します。

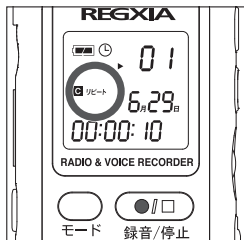
1. 選曲します。
   ▷再生ボタンを押します。
   再生中にフォルダボタンを押します。
   ここが繰り返し再生の起点となります。
2. ▷再生中に再度フォルダボタンを押します。
   ここが繰り返しの再生の終点となります。
   起点から終点までの間を繰り返し再生します。
   液晶画面にリピートが表示されます。
3. リピート(繰り返し)再生を中止する時は、▷再生ボタンを押します。通常再生になります。

3.

◆リピート(繰り返し)再生は、ボイスレコーダモードでも使用できます。

MP3(音楽)モード

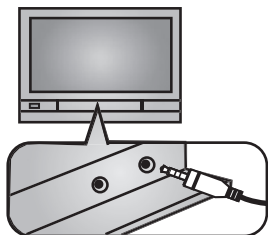
ファイルのリピート

同じ曲や同じファイル(音声)を繰り返し聞く時に設定します。

1. 再生します。
2. 再生中にフォルダボタンを長押しします。
   「リピート」が表示され、そのファイルがリピート(繰り返し)再生されます。
3. 再生中に再度フォルダボタンを長押しします。
   「リピート ALL」が表示され、すべてのファイルがリピート再生されます。
4. リピート再生を解除する時は、再生中にフォルダボタンを長押しして、「リピート」をオフ(「リピート」または「リピート ALL」表示を消す)にしてください。

◆付属のAV接続ケーブルでCDプレーヤ、テレビ等から録音した場合、
ボイスレコーダーモードに録音されています。音声の再生と同様の操作となります。

色々な録音〈接続の例〉

付属のラインケーブルを使って、いろいろな録音ができます。

テレビの音声を録音する。

CDプレーヤ等から音楽を録音する。

外部マイクジャックへ接続

CD player

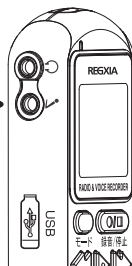
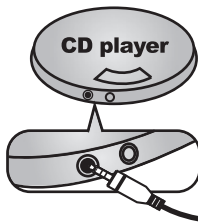
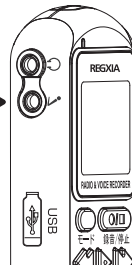
付属
AV接続ケーブル

REGXIA

RADIO & VOICE RECORDER

USB

モード

録音/停止

ライン出力端子またはヘッドホン端子へ接続

トラブルシューティング

こんなときは

電源が入らない

原因	対策
電池の取り付け方向は間違っていませんか?	⊕⊖を確認し、正しい方向でセットしてください。(P.12 参照)
電池残量は充分ですか?	新しい乾電池に交換してください。(P.12 参照)
動作がおかしい。	電池を一旦抜いて、再度入れ直してください。

音声がイヤホンから聞こえない。

原因	対策
イヤホンがきちんと奥まで差さっていない。	イヤホンプラグを持って奥まできちんと差し込んでください。
イヤホンを外部マイクジャックに差している。	イヤホンはイヤホン端子に差し込んでください。
音量が小さい。	音量を大きくしてください。

FMラジオの音がよく聞こえない。

原因	対策
イヤホンが差さっていない。	イヤホンはアンテナの代わりになるので、イヤホンジャックまたは外部マイクジャックに奥まできちんと差し込んでください。
イヤホンのコードを小さくたたんでいる。	イヤホンのコードは出来るだけ伸ばしてください。

トラブルシューティング

AMラジオの音がよく聞こえない。

原因	対策
アンテナの向き	本体を色々な向きに変えてみてください。
聞く場所	出来るだけ窓際で聞いてください。

録音がうまく出来ない。

原因	対策
ホールドになっている。	ホールドスイッチをオフにしてください。(P.17 参照)
録音時間、録音件数がいっぱいになっている。(保存ファイル数は 396 までです)	いくつかのファイルを削除してください。
電池残量は充分ですか?	新しい乾電池に交換してください。(P.12 参照)

再生がうまく出来ない。

原因	対策
ホールドになっている。	ホールドスイッチをオフにしてください。(P.17 参照)
電池残量は充分ですか?	新しい乾電池に交換してください。(P.12 参照)

仕様

製品仕様

型番	ICR-036
液晶	モノクロ
内蔵メモリ	2GB
ファイル形式	ADPCM(WAV)
ラジオモード	オートスキャン
	FM:76.0MHz-90.0MHz
	AM:522KHz-1629KHz
出力端子	イヤホン端子φ3.5mm モノラル (AM、FM)
入力端子	外部マイク端子φ3.5mm モノラル
最大出力	スピーカ : 50mW イヤホン : 0.5mW
再生周波数	300Hz～3000Hz

電源	単４形アルカリ乾電池 ×2
最大録音時間 (目安になります)	LP :544 時間 SP :136 時間 HP : 46 時間
保存ファイル数	1 フォルダ 99 ファイル 合計 396 ファイル
付属品	単４形アルカリ乾電池 ×2、 ※ステレオイヤホン、 AV 接続ケーブル、 USB-PC 接続ケーブル、 取扱説明書、 クイックスタートガイド、 ネックストラップ イヤホン型マイク
寸法(幅×高×奥行)	約 119(H)×45(W)×19(D)mm
重量	約 60g(付属品・乾電池を除く)

※ステレオイヤホンは試供品のため、保証対象外品です。

仕様

パソコン環境

以下の条件を満たすパソコンが必要となります。

●下記OSがプリインストールされたパソコン

	Windows 対応 OS
	Windows XP(SP2) / Vista / 7(32bit・64bit)
CPU	Intel Pentium Ⅱ 450MHz 以上 (Pentium Ⅲ 1.0GHz 以上を推奨)
メモリ	512MB 以上 (1GB 以上を推奨)
ビデオカード	64MB 以上
インターフェース	USB2.0

動作保証について

●動作環境を満たすPC中でも、一部機種の設定、構成により正常に動作しない場合があります。あらかじめご了承ください。

●各OSからアップグレードしたパソコンでは動作保証いたしません。

●USBハブや拡張USBポートに接続した状態での使用、自作機および改造を加えたパソコンについては動作保証いたしません。

●上記動作環境は最低限の条件を満たした仕様です。ご使用の OS に対応した動作環境が必要になります。

●Mac OS： Mac OS X 10.2.6以降の環境で動作いたしますが、サポート外となります。
あらかじめご了承ください。

仕様

電池寿命

連続音声録音の場合、約28時間です。

連続再生(スピーカ ボリューム5)の場合、約15時間です。

◆使用するアルカリ乾電池のメーカ、型番等により電池寿命は異なります。
上記の電池寿命は、目安とお考えください。